

平成 30 年度東浦町若者会議

第 3 回開催記録

1 開催概要

若者の発想やアイデアを実際のまちづくりに生かすこと、若者に「まちづくり」に興味を持ってもらうきっかけづくりとすることを目的として、平成 30 年度東浦町若者会議を開催します。グループに分かれ、東浦町の課題等に対する事業を検討します。

第3回では、提案するアイデアをまとめ、事業の内容を検討しました。

- 日 時：平成 30 年 8 月 11 日（土） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで
- 場 所：東浦町文化センター 視聴覚室
- 参加人数：18 人
- 内 容：
 - 1 開会（あいさつ、本日の予定について）
 - 2 前回の振り返り、役割分担
 - 3 グループワーク
「事業の具体的な内容を考えよう」
 - ①アイデアを絵にする
 - ②提案するアイデアを決める
 - ③提案をまとめる
 - 4 閉会

2 開催の様子



3 あいさつ、本日の予定について

<本日の予定>

前回、取組課題に対するアイデア出しを行いました。

今回は、アイデアを1つにまとめ、提案する事業の内容を検討していきます。

①アイデアを絵にする

箇条書きで書き出されたアイデアを絵に描くことで、それぞれのアイデアのイメージを膨らませます。新しいアイデアを追加したり、アイデア同士を合体させても構いません。

②提案するアイデアを決める

絵にしたアイデアから、どんな事業を提案するか決めます。事業の実現性も考慮に入れて選びます。

③提案をまとめる

選んだアイデアについて、事業内容を具体化して、提案事業としてまとめます。

(この作業は、次回にかけて行います。)

4 グループワーク

グループ名 : 半分、白い

●取組課題

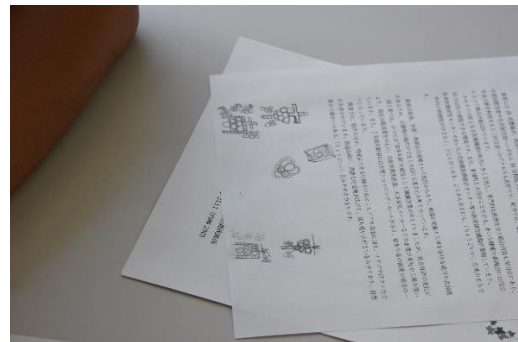
「自分たちのできることから」

●第3回の進捗状況

若者に対する情報発信として、Twitter アカウントを作成したい。この Twitter アカウントを運用していくには、若者によるサークルのような団体が必要である。

団体では、発信したい情報、町としては広めたいが広まっていない情報などを集め、これらを若者の言葉で発信していく。

発信方法も工夫していきたい。例えば、ただ「ぶどうが名産」と発信するのではなく、ぶどうを擬人化して、アニメ好きの人に対して発信する。



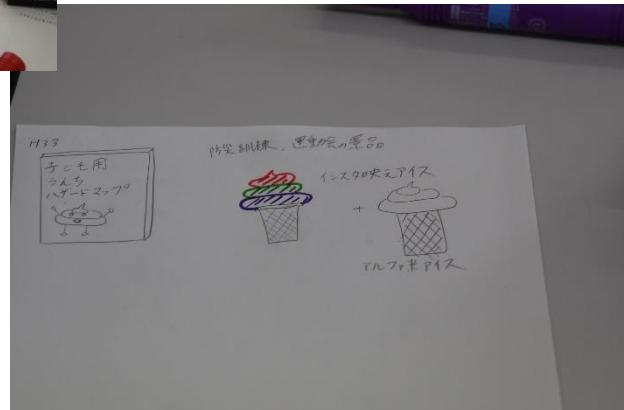
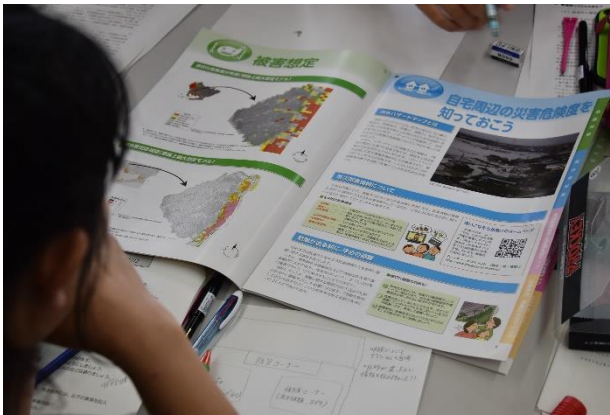
グループ名 : ぶどう

●取り組みたい課題
「若者の防災意識向上」

●第3回の進捗状況

住民が防災のことを知らない、危機感を持っていないという現状がある。そこで、危機感を持つためのきっかけとして、於大まつりで防災に関するブースを出したらよいのではないかと考えた。

ブースの中では、スタンプラリー、消防服を着て写真撮影など、複数のコーナーを用意することを考えている。しかし、現在考えているコーナー案では、ブース内に人が滞ってしまうという問題点がある。この問題点をどう解決していくか検討している段階である。



グループ名 : カントリーマアム

●取り組みたい課題

「自然環境学習の森における保全活動の充実」

●第3回の進捗状況

グループワークの最初に東浦自然環境学習の森の見学に行った。実際にどんな場所かを見て、新しいアイデアを考えたり、前回挙げたアイデアのどれが実現できそうかなどを考えた。今回は、アイデアの選択肢を絞るところまで進め、次回、アイデアを1つにまとめるところから始めることとなった。

(絞ったアイデア)

- ・竹の工作をする
- ・お金のもらえる活動をする
- ・イベントをする…子ども向け、家族向け
- ・フォトコンテスト
- ・サバイバルゲーム
- ・看板を作るイベント

